

# 県政レポート

ほんまに  
やらなすかん!

VOL.7

# 白井 Go! ゆきのり

白井ゆきのり

検索



令和3年11月定例議会(11月29日～12月21日)において、以下の項目について質問をいたしました。

## 【障害福祉サービス事業所の「サービス管理責任者」の人材が不足しています】

**Q:** サービス管理責任者の人材不足の現状と事業所の支援について。

**A:** <健康医療福祉部長>

サービス管理責任者のように特定の資格・要件を必要とする人材、また障害福祉支援の分野、全体において人手不足の状況にあり、人材確保へ向けての取組が求められている。利用者へのサービスの質の維持・向上に欠かせない重要な役割だけでなく、一時的な「みなし対応」も可能とするなど、状況に応じた丁寧な対応を講じ、国をはじめ必要な箇所に要望活動などの働きかけを強化していく。

◎2月27・28日に追加で「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者」の基礎研修を実施していただけることになった。

**Q:** 潜在有資格者への働きかけも有効な手段では？

**A:** <健康医療福祉部長>

配置が必要な880施設に対し、現在3300人の有資格者が県内におられる。県の広報媒体を活用した啓発や、潜在有資格者の掘り起こしなど、人材不足の解消に向けた取組が必要。

また、令和3年滋賀障害者プラン2021(※1)において、処遇改善への支援、学生へのPR活動、仕事の魅力発信事業など、人材確保に向けた取組の強化を計画している。

障害福祉サービスに従事する人材が全般的に不足している。障害者が地域とともに暮らし、共に育ち・学び、共に働き共に活動する「共生社会」を実現するには、障害福祉サービス事業所も大きな役割を担うこととなるので、早急な対応をお願いしたい。

(※1)令和3年  
滋賀障害者  
プラン2021



## 【県立高等学校における特別な支援の必要な生徒の支援について】

**Q:** 中学校の特別支援学級に在籍する生徒の高等学校への進学が増加している実態を伺う。

**A:** <教育長>

特別支援学級在籍の生徒の進路指導では、職業や進学先について生徒自身が詳しく知る機会が増え、また特色ある学科やコースの設置等、選択できる学校が増えている。生徒や保護者と丁寧な懇談を重ね、情報提供をしたり見学や体験の場を設ける取組をしている。今後も高等学校への進学希望者数は増加すると思われる。

**Q:** 個別の指導計画や個別の教育支援計画に基づく行き届いた支援の提供について伺う。

**A:** <教育長>

中学校在学中の支援の状況を引継、個々の生徒の状況や、高校卒業後の進路を見据えた計画の作成と支援を必要とする。高等学校においても障害のある生徒への支援の充実が必要であり、教職員の研修の充実、通級による指導の拡大、特別支援学校との連携の強化等を取組んでいく。

特別な支援を必要とする生徒が、進路として選んだ県立高等学校において、充実した高校生活がおくることができ、将来に向けて進んでいけるよう願う。必要とする支援が個別の指導計画や教育支援計画に基づいて提供されるように『これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針』(※2)にも明記して頂く。

(※2)滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針は滋賀県のホームページより閲覧できます。



ご挨拶

荒天に一喜一憂する年越しとなりましたが、いよいよ新しい年がスタートいたしました。皆様の温かいご支援を賜りまして、昨年県や市・地域の課題解決に日々取り組むことができました。常日頃の皆様の心温まる御心に感謝申し上げます。

さて、比較的に感染が抑えられた状態でお正月を過ごすことができたのですが、滋賀県でも第6波の感染拡大の傾向にあります。コロナウイルスの終息を大きな目標に掲げ、引き続き手洗いうがいの慣行、マスクの着用、十分は換気、密な状況の回避など基本とされている感染予防対策を、あたらめて順守して頂きますようお願いいたします。

一日も早く平穏な日常が戻ること、そして皆様のご健勝とご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年1月吉日

滋賀県議会議員

白井幸則

## 歳末特別警戒へ、出動

新築移転しました草津警察署におきまして、阪神タイガース Women の高塚南海選手を一日署長にお迎えして『令和3年度歳末特別警戒警察・消防合同出動式』が執り行われました。

地域の安全・安心を見守り続けている警察官・消防士の皆様には、心から感謝申し上げます。年末年始の寒い時期ではありますが、私たちの暮らしを守る任務を全うしていただきたいと思っております。また私たちも自主防犯の意識を高め、火の用心に努めましょう。



## 環境・農水常任委員会 県民参画委員会

志賀町漁業協同組合を訪問し、琵琶湖で漁業に携わる方々と県民参画型の委員会を開催しました。

ほかの水域では見られない琵琶湖特有の漁法や、水産資源を次世代に継承し、滋賀県の大切な基幹産業である水産業の基盤強化に取り組む必要があります。漁業従事者の所得の向上や後継者などの課題について、意見交換が行われました。



## 地域交通の安全・安心のために

県南部の人口の集中と土地の開発に伴い、人や車の流れが日々刻々と変化しているようです。また交通事故や慢性的な交通渋滞を招いています。効果的な交通の安全と円滑化を図るために、この度、野路地区に新たな信号機を設置していただきました。

また浜街道の路肩を整備し、道路の拡幅など交通安全対策をしていただいています。



←(下笠町)

↑(野路町)



## 養護学校アクセス道路の改良

草津養護学校とびわこ学園へのアクセス道路の拡幅工事をして頂きました。放課後デイサービスの迎いの車などで、混雑するので先生方が交通整理をしておられたのですが、負担が少しでも軽くなればと思います。



(笠山8丁目)→



## 新春のつどい(県政報告会)開催延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年と同様に2022年(令和4年)の新春のつどい(県政報告会)の開催を延期することといたしました。ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表質問

11月定例会議



質問者 有村 國俊 議員

1. 新型コロナウイルス感染症への対策と今後について
2. 高等教育機関について
3. 税制のあり方について
4. 滋賀のスポーツ振興について
5. 琵琶湖の漁業振興と環境改善について
6. 県立病院について
7. 強靱な道づくり・川づくりの推進について
8. 未来を担う子供たちへの環境づくりについて
9. 警察本部長就任にあたって

新型コロナウイルス感染症への対策と今後について

Q 自公政権が進めたワクチン接種の評価とその効果

A 知事 第5波においては、高齢者のワクチン接種が一定進んでおりましたことから、本県においても陽性患者数が今までで最大の規模となったにもかかわらず、高齢者の感染者数が比較的少なく、結果として死亡された方や重症化された方を低く抑えることができたかと捉えております。また、11月末現在において、ワクチンの2回目接種完了された方は接種対象者である12歳以上人口の85%を超えるまでとなったことで、現在の感染動向が非常に落ち着いている状況につながっていると考えており、ワクチンの効果が

如実に表れているものではないかと評価しているところでございます。

Q 第6波への備え

A 知事 病床ひっ迫時には、臨時の医療施設の運用を開始することで、入院待機者などを速やかに受け入れるなど予測される第6波に備えて、一般医療を維持しつつ、療養者にこれまで以上に安心して療養していただけるよう、陽性確認前から回復・療養解除後まで切れ目なく対応できる体制の強化を進めてまいりたいと存じます。

Q 滋賀のスポーツ振興について

A 知事 スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、人々の精神的な充足や明日の活力をもたらすなど生きる力になるとともに、共生社会や活力ある地域社会の実現に寄与しており、東京オリンピック・パラリンピックを通じて、その力を再認識いたしました。

また、2025年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会におきましても、子どもたちをはじめ多くの県民が、選手の活躍を間近に感じるとともに、大会運営に携わることで、スポーツの魅力を一層感じることができると考えております。これらの経験を通して、例えば、子どもたち

が新しくスポーツに挑戦したり、地域に新たなシンボルスポーツが誕生したり、スポーツボランティアが根付く滋賀にしたいと考えております。スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、障害者スポーツに対する理解の促進にも一層取り組んでまいりたいと存じます。

そのような滋賀のスポーツを思い描きながら、県民の皆さんが年齢や障害の有無に関わらず様々なスポーツを気軽に始め、楽しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツを「する」「みる」「支える」という関わりの中で、県民の皆さんや地域の健康づくりを進めていきたいと存じます。

Q スポーツ・ツーリズムの推進について

A 知事 本県では、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境などを活かして、ピワイチをはじめ、県内各地で湖上スポーツやトレイルランニング、トライアスロン、スキーなどを、多くの方々に楽しんでいただいているところです。これらの本県の自然環境を活かしたスポーツと、歴史文化遺産、食などの魅力を融合させることで、県外からも多くの方々にお越し

いただき、地域の活性化につなげていきたいと考えています。またプロスポーツチームの発信力を活用した取組も進めたいと考えています。今後、関係団体等とも連携し、本県ならではのスポーツをたくさんの方に楽しんでいただけるよう情報発信に努め、スポーツと地域資源の相乗効果が生まれるスポーツ・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。

G7環境大臣会合の滋賀県開催を要望

2023年に開催されるG7サミットに伴う環境大臣会合を滋賀県・大津の地で開催されるよう政府、外務省、環境省に要望しました。



二之湯国家公安委員長に「警察官増員」を要望

滋賀県は、警察官一人当たり負担人口が全国3位の621.8人で全国平均の490.3人を大きく上回っています。更にR4の植樹祭、R7の国スポ・障スポも見据え、警察官増員措置を要望しました。



小寺内閣府政務官に防災減災国土強靱化の更なる推進を要望

道路、河川、砂防など県民の安全に資する、国土強靱化の推進予算措置を重点的に要望。



東京2020パラリンピック競泳の金メダリスト

「置かれた場所で咲きなさい」 木村 敬一 選手

東京2020パラリンピック競泳の金メダリストは、栗東生まれで2歳の時病気で失明。活発ゆえに生傷が絶えず、10歳からお母さんと彦根のスイミングに通いはじめたそうです。中学校から東京の盲学校へ。ご家族や学校、東京ガスはじめ理解者の支援と、弛まざる努力で、北京、ロンドン、リオのパラリンピックを経て、ついに東京で金メダルに輝かれました。詳しくは『闇を泳ぐ』を是非お読み頂き、エネルギーを受けとってください。



滋賀県では、障害者スポーツを推進するため、きっかけづくりや情報発信、支える人材の育成などに取り組み、2025年に本県で開催します全国障害者スポーツ大会につなげてまいります。同時に開催する国民スポーツ大会とともに県民の皆さんが夢や感動を共有できる大会にしたいと考えておりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

ハラスメント防止研修を開催しました

臨床心理士の高橋啓子さんをお招きし、「ハラスメントの防止について」講演をいただきました。皆が熱心に聴講し、県議会としてもハラスメント防止により一層取り組む必要があるとの思いを強くしました。

